

拝啓

デンマークはイースター中に少々寒が戻りましたが、新芽が芽吹き始めており、北国にもようやく春が訪れようとしています。

さて、今年7月にデンマークの精神障害分野の職員らとともに日本を訪れ、「デンマークの精神障害者福祉」について紹介したいと考えています。日本では、3障害を統合した障害者自立支援法が、逆に障害者の生活を脅かしていると聞きますが、デンマークでは、精神障害も含めたあらゆる障害者に個々の障害に応じたしっかりしたサービスが提供されています。そんなデンマークの精神障害者福祉についての情報が、少しでも日本の精神障害者福祉の向上に寄与するならばと今回の日本訪問を思い立った次第です。この趣旨にご賛同いただき、貴地域での講演会等の開催にご協力いただければ幸甚です。

概要

・ 講演メインタイトル 「デンマークの精神障害者福祉について」

・ 講師 1) イング・ニュボ・ミケルセン

デンマーク精神障害者協会理事

2) ハッセ・トーマス・ヤコブセン

オーデンセ薬物中毒センター副所長

3) 銭本隆行・日欧文化交流学院

・ 費用 講演・通訳費 一人10万円、計30万円

貴地域滞在中の宿泊、食事代

※講演・通訳費は出来る範囲でかまいません。

※デンマーク日本往復航空券と御地までの交通費は日欧文化交流学院が負担いたします。

講演内容や形式はご相談に応じます。

敬具

平成21年3月

日欧文化交流学院

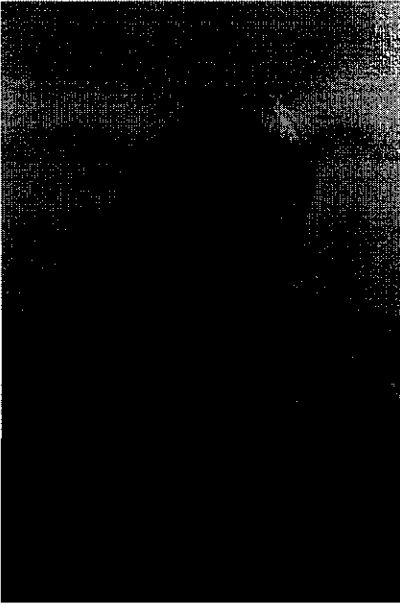
銭本隆行

Fælledvej11, 5400Bogense

Tel +45 64813280

Fax +45 64812630

kontor@bogense-djcc.com



インゲ・ニュボ・ミケルセン

誕生日 1942年10月5日

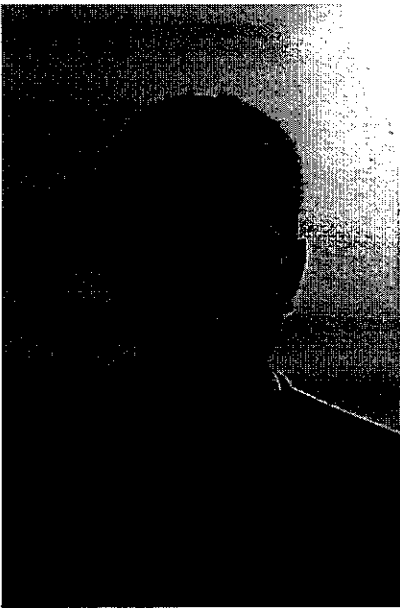
言語 デンマーク語、スウェーデン語、英語、ドイツ語、
少々フランス語

私生活 一夫一男一女

現職 デンマーク精神障害者協会理事・前精神障害者グル
ープホーム「トーンビヤウゴー」所長

1960年代から看護師として精神病院で勤務。1982年から
オーデンセ市にある精神障害者グループホーム「トーンビ
ヤウゴー」に勤務、1984年から所長に就任。その間、日常
業務の傍ら、「リーダー養成」や「組織マネジメント」の
教育を受け、所長を2年間休職し、スベンボウ病院精神病
棟の看護長も務める。フュン県とバイレ県の精神障害者に
対する計画作成委員会の委員も務めた。2008年に22年間務

めた「トーンビヤウゴー」所長を退き、年金生活に入る。デンマーク精神障害者協会理事
に就任予定。



ハッセ・トーマス・ヤコブセン

誕生日 1966年12月生まれ

言語 デンマーク語、英語、旅行用フランス語とドイツ
語

私生活 妻1人、娘2人

現職 オーデンセ薬物中毒センター副所長

南デンマーク大学文学部を卒業後、ボーゲンセ国民高等
学校で教師、副校長を務める。その後、精神障害者のグル
ープホーム「トーンビヤウゴー」で6年間、副所長を務め
る傍ら、南デンマーク大学で学び、行政学の修士号を取得。
2005年から現職に就いている。1999年からはN.E. パンクミ
ケルセン記念財団の理事も務めている。